

SALAMANCA SELECTION

世紀のメロドラマ「椿姫」の世界

ヴェルディ作曲 歌劇「椿姫“LA TRAVIATA”」演奏会形式(抜粋)

なぜひとりの娼婦が
パリを魅了したのか？



©NIPPON COLUMBIA
ヴィオレッタ／小林 沙羅



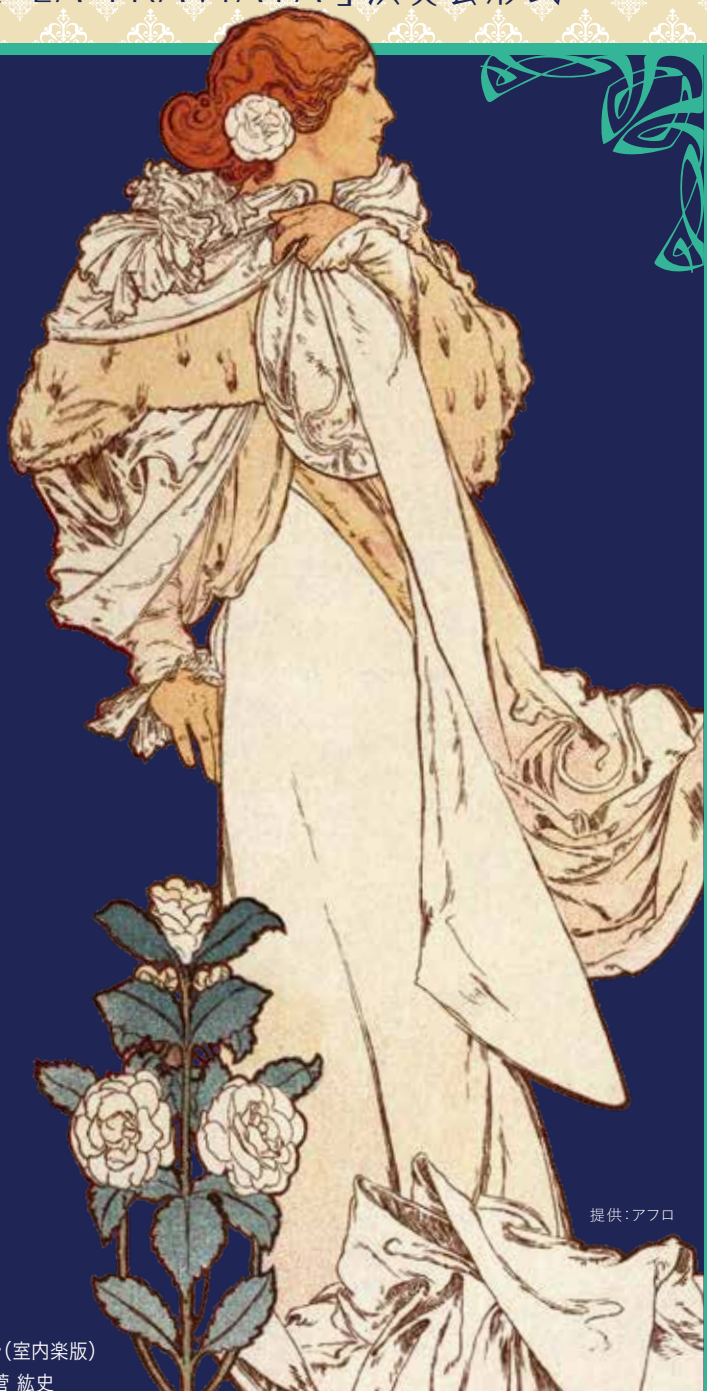
アルフレード／宮里 直樹



©Masaaki Hiraga
ジェルモン／
ヴィタリ・ユシュマノフ



管弦楽／愛知室内オーケストラ(室内楽版)
指揮／佐藤 正浩 合唱／県民合唱団 語り／小菅 紘史



提供：アフロ

2020.7.18(土) 15:00開演 (14:30開場) サラマンカホール 岐阜市数田南5-14-53 主催：サラマンカホール

全席指定 S席4,000円 A席2,000円 [サラマンカメイト S席3,600円 A席1,800円]

※学生半額(30歳まで) ※未就学児の入場はご遠慮ください。※A席・学生券・車いす席は、サラマンカホールチケットセンターのみの取扱いです。

サラマンカメイト先行発売 2020年3月5日(木) 一般発売 2020年3月12日(木)

※窓口 9:00～ | 電話・インターネット 10:00～

チケットのお求め | サラマンカホール チケットセンター

058-277-1110 [9:00-21:30]

WEB サラマンカ・オンラインチケット

チケットぴあ

t.pia.jp 0570-02-9999
Pコード: 178-241

ONE-TICKET

l-tike.com Lコード: 41933

e+ イープラス

eplus.jp Famiポート

beyond

2020

SALAMANCA HALL

サラマンカホール 検索

f

t

佐藤 正浩 [指揮] Masahiro Sato

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。ジュリアード音楽院ピアノ伴奏科修士課程修了。1995年、指揮者ケント・ナガノの招きでフランス・リヨン国立歌劇場の首席コレペティートルを務め、また、チョン・ミョンフン、ゲルギエフのアシスタントとしてパリ・シャトレ座、ウィーン芸術週間等で活躍。1999年、ダーティントン音楽祭(英)で「イドメネオ」を指揮しデビュー。2000年新国立劇場で「オルフェオとエウリディーチェ」を指揮し日本デビュー。2012年新作オペラ「白虎」の初演で佐川吉男音楽賞受賞。2013年、三善晃「遠い帆」を仙台で指揮、翌年新国立劇場で再演。東京芸術劇場コンサートオペラシリーズでは、2014年9月ヴェルディ「ドン・カルロ」のフランス語版を日本初演、また2019年10月同シリーズで、ドビュッシーのローマ大賞受賞作の歌劇「放蕩息子」とビゼーの歌劇「ジャミレ」を指揮。2015年12月藤原歌劇団公演でヴェルディ「仮面舞踏会」を、また2019年1月藤原歌劇団公演でヴェルディ「ラ・トラヴィアータ」を指揮、この公演はNHKBS「プレミアムシアター」で放送された。愛知県立芸術大学講師、慶応義塾ワグネル・ソサエティ男声合唱団常任指揮者。

宮里 直樹 [テノール] Naoki Miyasato

東京藝術大学卒業。同大学院修了。14年度明治安田クオリティオブライフ文化財団の海外音楽研修生としてウィーン国立音楽大学に学ぶ。15年度ロームミュージックファンデーション奨学生。第23回リッカルド・ザンドナーイコンコロソ第2位、第48回日伊声楽コンコロソ第1位等、コンクールで多数入賞。オペラでは佐藤眞作曲コンサートオペラ『ディオニュソス』初演にてキツを務める他、これまでに『トスカ』カヴァラドッシ、『ラ・ボエーム』ロドルフォ、『ランスへの旅』リーベンスコフ伯爵、『ファルスタッフ』フェントン、『愛の妙薬』ネモリーノなどに出演。コンサートではヘンデル「メサイア」、バッハ「口短調ミサ」、マニフィカト、モーツァルト「戴冠ミサ」、ベートーヴェン「第九」、ヴェルディ「レクイエム」等に出演。近年では17年日生劇場『ラ・ボエーム』ロドルフォ、東京二期会『蝶々夫人』ピンカートンで出演するほか、上海交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団をはじめ、国内外のオーケストラと共演し各方面から注目を集めている。19年10月東京芸術劇場コンサートオペラVol.7『放蕩息子』アザエルに続き、20年全国共同制作オペラ『ラ・トラヴィアータ』にアルフレードで出演し公演を成功へ導いたのは記憶に新しい。二期会会員

愛知室内オーケストラ Aichi Chamber Orchestra

2002年に愛知県立芸術大学出身の若手演奏家を中心として発足。現在は、国内外で研鑽を積み愛知県ほか東海地方で活躍するプロの演奏家で構成されている。2015年には新田ユリが常任指揮者に就任。定期演奏会のプログラムに北欧音楽を取り入れ、より緻密なアンサンブルの追求とともに、北欧音楽の響きの探求にも力を注ぐ。2016年度名古屋芸術奨励賞受賞。2019年7月、フィンランドのリエクサ・プラスウィークより招聘を受け、リエクサとヘルシンキの2都市でフィンランド公演をおこない成功を収める。

小林 沙羅 [ソプラノ] Sara Kobayashi

東京藝術大学及び同大学院修了。2010年度野村財団奨学生、2011年度文化庁新進芸術家在外研修員。2014年度ロームミュージックファンデーション奨学生。2010～15年ウィーンとローマにて研鑽を積む。2006年『パステアンとパステイエンヌ』でデビュー後、東京芸術劇場『トゥーランドット』リュウ、兵庫県立芸術文化センター『こもり』アデーレ／『魔弾の射手』エンヘン、新国立劇場『パルジファル』花の乙女等に出演。2012年ブルガリア国立歌劇場『ジャンニ・スキッキ』ラウレッタで欧州デビュー、海外へも活動の幅を広げる。2015年野田秀樹演出『フィガロの結婚』スザンナ、2017年藤原歌劇団『カルメン』ミカエラ、2019年全国共同制作オペラ『ドン・ジョヴァンニ』、2020年には『紅天女』タイトルロール役等話題作に続々出演。2014年デビューアルバム「花のしらべ」、2016年セカンドアルバム「この世でいちばん優しい歌」に続き2019年11月にはサードアルバムとなる「日本の詩(うた)」をリリース。2017年第27回出光音楽賞、2019年第20回ホテルオークラ賞受賞。日本声楽アカデミー会員。藤原歌劇団団員。大阪芸術大学准教授。オフィシャル・ホームページ <http://sarakobayashi.com/>

ヴィタリ・ユシュマノフ [バリトン] Vitaly Yushmanov

サンクトペテルブルク生まれ。マリンスキー劇場の若い声楽家のためのアカデミーで学ぶ。ライプツィヒのメンデルスゾーン・バルトルディ音楽演劇大学を卒業。2013年以来、度々来日し各地で演奏。2015年より日本に拠点を移す。CDも『Parole d'amore』(オクタヴィア)、「ありがとう」を風にのせて～日本名歌曲集～(オクタヴィア)など3枚をリリース。日本では「ドン・カルロ」ロドリゴ侯爵役、「ドン・ジョヴァンニ」ドン・ジョヴァンニ役、「ラインの黄金」ドンナー役出演。2018年にはプレトニョフ指揮、ロシア・ナショナル管と演奏会形式で、歌劇「イオランタ」にエブヌ＝ハキア役で出演。2019年には「ドン・ジョヴァンニ」をタイトル・ロールとして全国4公演に出演した。日本トスティ歌曲コンクール2015第1位、第14回東京音楽コンクール第2位、第52回日伊声楽コンコロソ第1位および最優秀歌曲賞受賞。藤原歌劇団団員

小菅 紘史 [語り] Hiroshi Kosuge

1981年生まれ、東京都出身。2000年より、桜美林大学にて演劇活動をはじめ。平田オリザ(青年団)、宮城聡(ク・ナウカ)、坂口芳貞(文学座)、安田雅弘(山ノ手事情社)、加納幸和(花組芝居)らのもとで学びながら、自主制作の演劇を数多くつくる。その後、フリーの役者としてジャンル・サイズ・環境を問わず、さまざまな場所で舞台に立ち続ける。2008年、より深く密度の高い演劇体験を求めて劇団「第七劇場」に所属。以降劇団主宰で演出家の鳴海康平のもと俳優としてほとんどの作品に参加。代表作は「かもめ」「班女」「山月記」。2013年、劇団が三重県津市に新たに小劇場「テアトル・ドゥ・ベルヴィル」をつくり活動拠点を移す。ドイツ、台湾、韓国などの公演のほか、各地の演劇公演にも客演している。

世紀のメロドラマ「椿姫」の世界(連続講座) 各500円(自由席) サラマンカメイト先行発売 3月5日(木) 一般発売 3月12日(木)

Vol.1

指揮者が語る～旋律の宝庫「椿姫」

5月30日(土)14:00

サラマンカホール リハーサル室

講師:佐藤正浩(指揮者)

Vol.2

映画で観る「椿姫」
～グレタ・ガルボの華麗なる名演技！

6月27日(土)19:00 サラマンカホール

講師:浦久俊彦(サラマンカホール音楽監督)

Vol.3

デュマ・フィスが描いた「椿姫」
～19世紀パリと娼婦の世界～

7月11日(土)14:00 OKBふれあい会館14F展望レセプションルーム

講師:浦久俊彦(サラマンカホール音楽監督)

サラマンカメイトのご案内

特典

- チケットの先行販売
- チケットの割引(1公演2枚まで)
- ダイレクトメールによるコンサートのご案内
- グッズコーナーでの割引

※お電話(058-277-1110 入会申込書を郵送)および、インターネットでも受付しております。

※年会費2,000円

※入会申込書は、サラマンカホール チケットセンターにご用意しています。

※年会費の口座振替もご利用ください。

交通アクセス・駐車場



自動車

- JR西岐阜駅から車で約5分(南口タクシー乗り場より約2km)
- JR東海道新幹線・岐阜羽島駅および名神高速道路・岐阜羽島ICより車で約20分
- 無料駐車場完備

終演後に西岐阜駅まで無料マイクロバスを運行します 正面玄関前(北側)から出発します。

公共交通機関

- JR岐阜駅(北口)より「岐阜バス」で約20分
- 名鉄岐阜駅より「岐阜バス」で約25分
- JR西岐阜駅(南口)より「西ぎふ・くるるバス」で約12分
- JR東海道本線・名古屋駅から西岐阜駅まで約23分



客席のご案内

